

# 人類絶滅への警告

## 地層は活動の痕跡を刻む

本連載のタイトル「人新世を耕す」は日本種苗新聞が付けて下さったものである。「人新世」という用語を提唱したのは1995年にオゾン層破壊の研究でノーベル賞を受賞したオランダのパウル・クルツェンとアメリカの生態学者のユージン・ストーマーである。

中で「われわれが生きている時代はもう完新世ではない、人新世だ」と叫んだ。これに先立ちスト

で議論が続けられているが、まだ結論には至っていない。

### 生態系や気候に影響

この用語を地質学において定義するためには、いつをもって「人新世」の始まりとするかを、決める必要がある。そのため国際層序委員会の第

「人新世」を「人間活動が地球の生態系や気候に重大な影響を及ぼしている時代」とするならば、さまざまな出来事を「人新世」の始まりの時期として考えることができる。

クルツェンは、メキシコで2000年に開かれた地球環境の変化に関

したため国際層序委員会の第

例えば人類による大型哺乳類の絶滅を例にとると、他にもコロナスによ

シコで2000年に開かれた地球環境の変化に関

したため国際層序委員会の第

例えば人類による大型哺乳類の絶滅を例にとると、他にもコロナスによ